

情報開示の欠如 - 指名プロセス

背景

2008年、OTIS（当時United Technologies参加であり、フジテックの競合）はフジテックの株式の16%を保有していたが、その後、売却。2023年2月に、オアシスは、OTIS社の20年ベテラン、Torsten Gessnerを推薦し、選出。そして、たったの3か月後、会社は、OTIS歴36年のベテラン、Anthony Blackを推薦しました。Gessner氏とBlack氏は、15年以上の付き合いがありながら、株主へ説明をしていません。

OTIS



Torsten Gessner

OTIS (UT) 勤務
20年
1985 to 2005

15年以上の関係。透明性のない指名プロセス。

- Torsten GessnerとAnthony Blackは2005年から一緒に仕事をし、関係を持っていました（オアシス社の公文書）
- トーステン・ゲスナーは、フジテックの指名報酬諮問委員会のメンバーであり、知己のあるアンソニー・ブラックとの関係について開示・公表すべき
- 競合他社での同僚である元幹部を2名も社外取締役にするには、様々な知見を取り入れるというダイバーシティの精神に反する
- Black氏が、オアシスのストック・オプション等を有していれば、経済的利益相反が発生する可能性があるが、これについての開示がない

なぜ、これらの事実を隠しているのでしょうか？

OTIS



Anthony Black

OTIS (UT) 勤務
36年
1984 to 2020